

令和6年度第1回倉吉市男女共同参画推進市民会議 会議録

日時：令和6年5月17日（金）

午後1時30分～2時40分

会場：倉吉市役所第2庁舎 会議室 303

出席者

委員：岩間会長、河本副会長、井中委員、岩瀬委員、植木委員、柴田委員、寺谷委員、中尾委員、中野委員、花田委員、福井委員(会長・副会長以外50音順)

事務局：東本部長、菅野課長、光村課長補佐、山崎係長、平井主任

日程

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 協議事項
 - (1) 令和6年度倉吉市男女共同参画推進まちづくり表彰被表彰者について
 - (2) 令和6年度倉吉市男女共同参画に関する市民意識調査について
- 5 その他 ・令和6年度男女共同参画推進事業について
- 6 閉会

日程1～2省略

3 委員紹介

令和6年4月1日をもって委員交代あり。新委員の中山委員を紹介

4 協議事項

- (1) 令和6年度倉吉市男女共同参画推進まちづくり表彰被表彰者について
 - ・資料1及び資料2に基づき、自薦応募者3件について説明。
○意見、質疑応答の後、3件の表彰について承認された。
- (2) 令和6年度倉吉市男女共同参画に関する市民意識調査について
 - ・資料3及び資料4に基づき説明。

【意見、質問】※黒字は委員発言、青字は事務局回答

- ・意識調査は5年ごとということだが、前回の有効回答率は40%程度とのこと。それ以前はどういう状況か。下がりぎみなのか。
⇒前回40.3%。前々回もぎりぎり40%といったところ。
- ・回答年齢層も高くなっているか。
⇒60歳以上、70歳以上といったところが高い状況となっている。
- ・想像どおり。オンライン回答ができると若い年齢層の回答率が高くなる。
⇒若い年齢層に回答してもらいやすくなると考えている。
- ・若い年齢層の回答率アップのためにアンケートに回答すると何かもらえるといったインセンティブをつけると回答率アップの可能性があると考える。
⇒インセンティブとして良い案があれば教えていただければと思う。前回調査におい

て 30 代男性からオンライン回答できるようにしてほしいとの意見があり、今回オンライン回答可能とすることで若い年齢層の回答率が上がることを期待している。

- ・アンケートを送付するのは無作為ということだったが、それぞれの年齢層において同じ割合で抽出されるか。回答の少ない年齢層はどの年齢層か。若い世代の関心が少ないということか。

⇒それぞれの年齢層の市民の構成比率で抽出する。

⇒18～19 歳の年齢層が一番少ない。続いて 20 代、30 代という状況。関心については不明だが、オンライン回答可能とすることで回答率アップを期待する。

- ・10 代の我が子に届いたことがあり、回答を促したが、「何？」という感じだった。親としてもなぜ 10 代に届くのか理解できない。
- ・18 歳で子育てや仕事や職場について問われても回答できないと思う。
- ・経年変化をみないといけない面もあるため設問を減らしにくいところもあると思う。過去に回答したとき回答にかなりの労力と時間を要した。今回、減らされるということとは良いと思う。自分と関係ない設問だとなかなか書いて出さないと思う。
- ・今の若い子はこういった文章を見た瞬間にアウト。難しいことが書いてある感じがするだけで進まない。質問の意図を汲み取るのが難しい 10 代もいたりする。この調査は、全部答えなくても答えられる箇所だけに答えてもよいものか。1 問でもよいので回答するよう書いてあると 10 代の興味がある事項が少しは拾えるかもしれないし、その分回答率も上がるかもしれない。

⇒「答えられる範囲でぜひ」ということも入れていきたい。

- ・選択肢は 3 択とか 5 択とし、その他に意見がある場合に記述するというようにしたほうが回答するのに楽だと思う。また、言葉自体知らないということもある。この調査票案を読みこなして全部答えるのは難しいと感じた。

⇒選択肢をもう少し減らしてみる。

- ・調査結果は、人口構成比率が多い年代の意見が市民全体の意見として捉えられてしまうので、年代ごとにどんな意見を持っているか各年代ごとの傾向がわかるようにしたほうがよい。

○調査票案については、設問構成や設問数 20 問で承認。選択肢の多い設問について、類似の選択肢をまとめ選択数を減らし、かつ文章を短くする等再検討したものを事務局から改めて提示し、それに対する意見を委員から 5 月末頃を期限に出していただくこととなった。

5 その他

- ・令和 6 年度男女共同参画推進事業について、資料 5 に基づき説明。

以上